

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
わくわくエジソン大正教室		2025年 5月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	25%	75%	・テーブルの配置を工夫し、広い場所を確保している	・クールダウンが出来る部屋が必要 ・スペースに限りがあり難しい
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	25%	75%	・有資格者の確保	・基準は満たしているが常に人手不足
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	50%	50%	・視覚から情報が得られるように絵カードや一日の流れの掲示などの工夫 ・学習スペースと遊びスペースの分離	・バリアフリーでは無い
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		100%	・状況に応じて、消毒液の使い分けなどの工夫	・少し古いので、完全に清潔とは言えない。 ・空間に余裕が無い
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		100%	・パーティションの使用	・移転によって、個別の空間を確保できると聞いている。 ・スペースに限りがある為、難しい
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	50%	50%	・毎週会議で話し合いをしている ・教室会議の開催	・人手不足により時間的余裕がない
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・会議などによる情報、対応の共有 ・責任者が会議で発表している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	50%	50%	・教室会議の開催	・教室内では出来ても、全教室では難しい ・人員が少ない為個人の話はなかなか出来ない
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	25%	75%	・他教室のを参考にしている	・わからない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・勉強会を開催している。 ・研修は充実している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	75%	25%	・ブログやインスタなどで公表されている。 ・職員間の意見交換	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		・会議で話し合い提案している	・教室内では出来ている
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	75%	25%	・会議にて、共有、検討を行なっている ・職員間の意見交換	・内容を知らない場合もあります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	25%	75%	・教室会議の開催	・指導員には行われているが、ドライバーには行われていない ・共有はされていますが把握は難しいです
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	75%	25%	・見やすい場所に掲示	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		・話し合い決定している ・職員間の意見交換	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	50%	50%	・教室会議の開催	・時間的余裕がない ・担当者が個々で考える
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・一緒に課題は重ならないように工夫している ・情報収集	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	75%	25%	・会議で決定	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		100%	・チャットワークの活用	・毎日ではできていない。 ・時間的余裕がない
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	25%	75%	・チャットワークの活用	・時間的余裕がない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		・日報を作成して記録している。 ・学習内容や状況の記録	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	50%	50%	・できていると思う。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	75%	25%	・職員間の意見交換	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		・個々によってできていると思う。 ・自己決定支援を行なっている ・選択肢の提示や声かけ	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・管理者が時間を作り参加している ・会議が行われている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%	・お迎え時などこまめに関係者に話を聞いている	・状況共有は出来ているが支援の質の同一化は難しい
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	75%	25%	・職員共有している	・学校からの情報共有が遅い
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	75%	25%	・できていると思う。	・情報共有は出来ても、相互理解は難しい
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	75%	25%	・保護者様と連携している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	25%	75%	・設けている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		100%		・以前はありましたが今は感染などの件で中断している ・児童館職員との交流はあるが、子どもとの交流は難しい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	50%	・自分は出来ないが職員の中でしている人がいる	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		・送迎時に共有したり面談など ・連絡帳の活用	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	・家族参加型のイベントの開催 ・親子イベントの開催	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		・自分はしていないが管理者が行っている ・連絡帳などで伝えている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・管理者が行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		・管理者が行っている ・同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・管理者が行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	25%	75%	・親子イベントの開催	・細かくはできていないと思う。 ・感染系で中断
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・管理者が行っている ・適切に対応している	

非常時等の対応	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		・Instagramなど	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・送迎表などの伏せ字 ・顔写真など対応している ・鍵付き書庫の利用	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・メールや電話の利用	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%		・子どもの特性上、難しい ・感染系で中断している
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		・目の届く所への掲示や半年に一度の訓練 ・避難訓練など定期的に行なっている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・半年に一度、状況設定をしてそれに伴う避難の練習	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		・管理者が行い、スタッフに情報共有 ・保護者と連携している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	75%	25%	・職員間の情報の共有している ・子供1人1人対応している	・現在アレルギー対応の子がいない
非常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	75%	25%	・訓練実施している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	75%	25%	・連携している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・職員で連携している ・情報、対応の共有	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	75%	25%	・会社全体の会議の開催 ・研修が行われている	・虐待に関しての研修は受けた事がない
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	75%	25%	・保護者との連携を密にしている ・保護者様との話し合い	